

建設・総合監理部門

所属：大日本土木株式会社 森川 英憲

東ティモール雑感

少し前の海外出張の体験を述べます。平成 23 年 7 月の末に、東ティモールで当社が施工したモラ橋（ODA：無償資金協力）の竣工式に出席する機会に恵まれました。東ティモール民主共和国は面積が約 14,900km²（首都 4 都県：東京、千葉、埼玉、神奈川の合計面積と同じ）で人口は約 107 万人（2010 年暫定値）です。インドネシアから独立した島国でバリ島から飛行機で 2 時間ほど東方に位置しています。熱帯モンスーン気候に属し、明確な雨季と乾季があり、北部海岸沿いでは 11～4 月が雨季で、6～9 月が乾季です。最低気温は摂氏 18～23 度、最高気温は 28～33 度です。

首都はディリ（北部）にあり民族はテトゥン族等大半がメラネシア系でその他マレー系、中華系、ポルトガル系を主体とする欧州人およびその混血等で構成されています。宗教はキリスト教（大半がカトリック）が 99.1% でイスラム教が 0.79% です。2002 年より日本からの支援が開始されました。主に教育・人材育成・制度作り、インフラ整備・維持管理、農業・農村開発及び平和の定着を重点 4 分野として、今日まで支援が行なわれています。モラ橋は首都ディリと南部主要都市スアイ間を結ぶ幹線道路に架かる大きな橋です。モラ橋は 1996 年、インドネシア時代に建設されましたが、2000 年の洪水により中州を挟んで 2 つある橋のうち、スワイ側の橋が倒壊してしまいました。地域住民は乾季にしか川を渡ることができず、農作物等の輸送に困難を極め、当地域の住民生活、商業活動等に大きな支障をきたしていました。今回完成した橋は全長 216m、2 車線の鋼鉄製トラス橋で 4 スパンを約 7 億円で建設しました。

現地は首都ディリより南約 146 km のコバリマ県ズマライ准県です。この距離を車で移動しますが、実に道路が悪いため、なんと 6.5 時間もかかります。朝 7 時にディリを出発し凸凹道の山越えで日本の 3 桁国道よりも狭い道路を 4 駆車が腹を擦りながら走行して行きました。到着は午後 1 時 30 分でした。途中には集落があり子供たちが通学しておりました、学校は良く整備されており、午前午後の 2 部制で小学校と中学校の授業が行われていました。子供たちは明るく人なつっこく元気に登校していました。

ODA 工事はカントリーリスクが多く、社員は資材調達、運搬、労働力の調達、技術者の確保等に労力を費やします。当工事の場合は資材：35%、労務費：20%、運搬費：10%、直接仮設費：15%、共通仮設費・現場管理費：15% 程度構成されています。いかに安価で良い資材を調達して、現地へ輸送するかに工事の成否が掛ります。日本から発送した船便

[岐阜県技術士会会報の情報連絡先]

代表幹事 田島 暎久 〒509-0108 各務原市テクノプラザ1-1 テクノプラザ内
TEL: 0583-79-0580 FAX: 0583-85-4316 E-mail: gcea9901@ybb.ne.jp

岐阜県技術士会会報

-72
2013. 01.15

発行人 田島 暎久
編集人 寺崎 均

が天候の都合でなかなか現地に入れなく沖で待機して工期に大きな影響を与えたことや、陸路での運搬か海路か色々なケースを検討して重機や資材を運搬したそうです。

竣工式の前日に、現地の当社のキャンプ（現場事務所、現場宿舎）にグスマン首相、ペドロ・ライ・インフラ大臣、カエイロ国務長官以下9名の高官が宿泊することになり、当社スタッフがおもてなしをすることになりました。現地に出任中の社員の奥様2名が現地で食事の準備を行いました。もちろんコックは専属で雇っており現地スタッフは毎日、日本食を食べています。当日のメニューは料理の先生の資格持っている奥様による生地から手作りの「ピザパイパーティー」となりました。なんと、手作りの釜まで現地で作っていました。現地調達で色々な材料を使い風呂釜の上部にパイ焼き釜を作っていました。基本的に我々の出来る範囲内の「おもてなし」を常に心がけているとのことでした。その他にチキンのフライ、ホテト、近海で獲れた蟹等がありました。ビールやワインで高官と我々スタッフが楽しく食事をして、完成式典の前祝いをしました。グスマン首相は大の喫煙家であり部屋の中での喫煙はどうかと所長に聞いたら、ルールで戸外のベンチで吸うように要請したため、食後は外のベンチで首脳と歓談をしておりました。時間もあったので、サプライズで「お茶会」をすることにしました。海外の社員は日本からのお土産は「虎屋の羊羹」を所望するので、折角美味しい羊羹を食べるならば、「お抹茶」を飲んで貰おうと密かに準備しておきました。大学の4年の後半より習い始めてかなり続けていましたが最近では習う機会はなく、もっぱら趣味として嗜んでいました。当社の社員には、夕食前の空いた時間に「お手前」をしました。大変喜んでくれたので、事務担当に通訳を頼んで「日本のお茶」のお手前の説明をしながら9人全員に日本文化を味わって頂きました。趣味が国際交流に一役立てて本当に嬉しく思いました。

式典は翌日好天の中、東ティモール主催でラモス・ホルタ大統領、グスマン首相、ラマサ国会議長以下昨夜の首脳陣と県知事をはじめ地域住民等が多数出席して盛大に開催されました。日本からは北原大使夫妻、高田JICA東ティモール所長、施工の当社社員、コンサルの日本工営の社員の皆さんの出席でした。式典は日本と同じようで、神主の代わりにカトリックの神父が橋を清めたあと、出席者全員で渡り初めを行い橋の完成を祝いました。当社の社員の努力に深く敬意を表するとともに、大変誇らしく感じました。土木技術者としてのやりがいを楽しみ楽しみ味わいました。

[岐阜県技術士会会報の情報連絡先]

代表幹事 田島 暎久 〒509-0108 各務原市テクノプラザ1-1 テクノプラザ内
TEL: 0583-79-0580 FAX: 0583-85-4316 E-mail: gcea9901@ybb.ne.jp



完成したモラ橋



式典参加者 歓迎の織物を頂いたところ
中央のサングラスが大統領と首相他



渡り初め



途中の集落にて




位置図 (外務省資料より)


[岐阜県技術士会会報の情報連絡先]

代表幹事 田島 暎久 〒509-0108 各務原市テクノプラザ1-1 テクノプラザ内
TEL : 0583-79-0580 FAX : 0583-85-4316 E mail : gcea9901@ybb.ne.jp

参考資料（外務省：東ティモール民主共和国より）



東ティモールの国造りに対する日本の支援


平成23年7月
南東アジア第二課

支援の意義

- ・東ティモールの平和と安定は、アジア太平洋地域の平和と安定のために重要。紛争の再発を防ぎ平和を定着させるための取組が必要。
- ・国際社会の課題である平和構築は、日本外交の重点分野の一つ。東ティモールの国造りに対する支援は、日本の平和構築分野での積極的貢献のモデル・ケース。
- ・国造り支援により、二国間関係や国際場裡での協力の更なる強化が期待される。

支援の内容

人的貢献

1 国連PKOミッションへの自衛隊・文民警察要員派遣、選挙監視等

- ・拡大自治に係る住民直接投票への文民警察要員(3名)の派遣(1999年7月～9月)
- ・避難民救援空輸隊(113名)の派遣(1999年11月～2000年2月)
- ・憲法制定議会議員選挙への選挙監視要員(19名)の派遣(2001年8月～9月)
- ・司令部要員(第一次10名、第二次7名)の派遣(2002年2月～2004年6月)
- ・自衛隊施設部隊(第一次及び第二次各680名、第三次522名、第四次405名)の派遣(2002年3月～2004年6月)
- ・大統領選挙への選挙監視要員(8名)の派遣(2002年4月)
- ・文民警察要員(第一次2名、第二次2名)の派遣(2007年1月～2008年2月)
- ・選挙監視要員の派遣(2007年3月～7月):大統領選挙(14名)、大統領選挙決選投票(8名)、国民議会選挙(14名)
- ・軍事連絡要員の派遣(第一次2名2010年9月～2011年3月、第二次2名2011年3月～)

2 人材育成

- ・東ティモール国軍士官等の防衛大学校受入れ、東ティモール国家警察官の日本での研修
- ・「平和構築人材育成事業」への東ティモール人研修員の受入れ

経済協力

- ①行政基幹部門の人材育成・制度づくり、②インフラ整備・維持管理、③農業・農村開発、
④平和の定着の4分野を重点分野として総額270億円以上の支援を実施

- ・無償資金協力:2010年度までの累計212.53億円(E/Nベース)
道路・港湾・上水道等の基礎インフラ整備、教育・保健医療等の基礎生活分野、灌漑施設、国内避難民支援、大統領・議会選挙実施支援等
- ・技術協力:2009年度までの累計60.15億円(JICA経費実績ベース)
専門家派遣(386人):援助調整分野、インフラ分野、環境分野、農業政策、灌漑分野等
青年海外協力隊派遣(2010年4月～)
研修生受入れ(815人):農業、インフラ、各種行政分野等

外交面での貢献

- ・住民直接投票直後の1999年12月、第1回東ティモール支援国会合を東京にて主催。
- ・2002年5月20日の独立と同時に外交関係を樹立(同日大使館開設)。外交関係樹立10周年となる2012年を周年事業「友情と平和の年」として両国関係の一層の強化を図る。
- ・2009年及び10年には安保理非常任理事国として東ティモールについてのリード国を務め、東ティモールに関する国連での議論を牽引。
- ・東ティモールの円滑なASEAN加盟を支持(2009年3月の日・東ティモール共同プレスステートメントで公表)。10年10月よりASEAN加盟準備支援の通商貿易アドバイザーを派遣。

[岐阜県技術士会会報の情報連絡先]

代表幹事 田島 暎久 〒509-0108 各務原市テクノプラザ1-1 テクノプラザ内
TEL:0583-79-0580 FAX:0583-85-4316 E-mail:gcea9901@ybb.ne.jp